

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-047343

(43)Date of publication of application : 18.02.2000

---

(51)Int. Cl.

G03C 1/00

---

(21)Application number : 10-226614

(71)Applicant : ITO NOBORU

(22)Date of filing : 28.07.1998

(72)Inventor : ITO NOBORU

SUZUKI MASAOKI

---

(54) PRODUCTION OF MAGNETIC PHOTOGRAPHIC PAPER

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To eliminate the need for large-scale equipment by superposition and adhesion of a magnetic sheet in a development stage by superposing and adhering an ultra-thin type magnetic sheet to photographic paper in a process stage for producing a photographic paper roll, thereby making it possible to pass through the magnetic photographic paper roll to pass a place of a narrow thickness and width between the processes of a developing device as it is.

**SOLUTION:** The ultra-thin magnetic sheet is adhered to the photographic paper roll in the process stage for producing the photographic paper roll, by which the magnetic photographic paper roll is produced and the photographic paper roll is made passable through the place of the narrow thickness and width between the processes of the developing device as it is. A release type protective film is used at the time of magnetic sheet production in order to stably superpose and adhere the ultra-thin magnetic sheet and the photographic paper roll. The ultra-thin magnetic sheet and the photographic paper roll are superposed and adhered while the release type protective film laminated on the ultra-thin magnetic sheet is peeled in the processing stage of producing the photographic paper roll. The magnetic photographic paper roll may otherwise be produced by using the ultra-thin magnetic sheet in non-magnetized state and may be magnetized from the rear side by a magnetization device in the state of a photograph after development.

---

*LEGAL STATUS**[Date of request for examination]**[Date of sending the examiner's decision of rejection]**[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]**[Date of final disposal for application]**[Patent number]**[Date of registration]**[Number of appeal against examiner's decision of rejection]**[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]**[Date of extinction of right]*

*Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office*

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-47343  
(P2000-47343A)

(43) 公開日 平成12年2月18日 (2000.2.18)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	タームコード (参考)
G 0 3 C 1/00	G A P	G 0 3 C 1/00	G A P E 2 H 0 2 3

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 2 頁)

(21) 出願番号	特願平10-226614	(71) 出願人	598108250 伊藤 登 埼玉県鴻巣市赤見台2-2-16-504
(22) 出願日	平成10年7月28日 (1998.7.28)	(72) 発明者	伊藤 登 埼玉県鴻巣市赤見台2-2-16-504
		(72) 発明者	鈴木 正明 栃木県黒磯市島方449-45
		Fターム (参考)	2H023 FA02

(54) 【発明の名称】 磁性印画紙の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 印画紙ロールの現像段階前に磁性印画紙にすることで、各写真店が簡易に磁性印画紙を製造することができ、スチール家具などの磁性体面に自由に貼ったり剥がしたりすることができる磁性印画紙を提供する。

【解決手段】 印画紙ロールを製造する工程段階で超薄型磁性シートを重合接着することにより磁性印画紙ロールを製造し、その磁性印画紙ロールをそのまま各写真店が現像装置の工程間の厚み幅の狭い所を通すことで磁性印画紙による写真となる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 印画紙ロールを製造する工程段階で超薄型磁性シートを重合接着することにより磁性印画紙ロールを製造し、その磁性印画紙ロールをそのまま現像装置の工程間の厚み幅の狭い所を通すことができることを特徴とする製造方法。

【請求項2】 磁性印画紙製造工程で磁力を避ける場合、無着磁の超薄型磁性シートを使用し、磁性印画紙ロールを製造後、着磁装置により後工程で磁力を発生させる請求項1記載の製造方法。

【請求項3】 超薄型磁性シートを安定させるため磁性シート製造時に離形保護フィルムを使用し、印画紙ロールを製造する工程段階でラミネートされた磁性シートの離形保護フィルムを剥がしながら重合接着させる請求項1記載の製造方法。

【請求項4】 磁性印画紙の現像段階で、現像番号を印字する印字プレート工程での印字を可能にするため超薄型磁性シートを色塗装またはフィルムシートをラミネートすることを特徴とする請求項1記載の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、印画紙ロールの製造工程時に超薄型磁性シートを接合することに係り、特に現像段階での工程間の厚み幅のない所を通すことができる超薄型磁性シートに関する。

【0002】

【従来の技術】印画紙を焼き付け工程により写真にする中で、現像後の印画紙に磁性シートを重合接着することにより磁性印画紙にしたり、現像した写真に後から磁性シートを重合接着したりして、スチール家具などの磁性体に自由に貼ったり剥がしたりすることが行われている。

【0003】この磁性印画紙は、自由に貼ったり剥がしたりできることで、家族の写真や友人の写真をピンなどで写真自身を傷つけずに磁性体面に飾ることができるという優れた利用法を有している。欧米では、昔から家族の写真を会社や自宅に貼ることが常であり、日本においても近年写真をスチール家具などの磁性体面に貼ることが多く見られる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】このように会社や自宅で自由に貼ったり剥がしたりできる優れた特性を持つ磁性印画紙であるが、現像段階での磁性シートの重合接着の方法は、通常、印画紙ロールを印画紙製造会社より購入して写真の現像をしなければならぬ写真店においては、重合接着するための大がかりな設備を各写真店でなければならぬというデメリットがあり、また、現像後の写真に磁性シートを重合接着する方法は、1枚1枚重合接着しなければならない手間がかかるというデメリットがあり、印画紙ロールを購入時点で既に磁性シート

が重合接着しており、かつ現像装置の焼き付け工程での厚み幅の狭い所を通すことができる、超薄型の磁性印画紙の出現が待たれた。

【0005】

【課題を解決するための手段】前述の目的を達成するため、本発明の磁性印画紙の製造方法は、印画紙ロールの製造工程の中で超薄型磁性シートを使用することで、各写真店が印画紙の現像段階での焼き付け工程内の厚み幅のない所を通すことができることを特徴とするものである。

【0006】また、近年APSタイプの写真フィルムは、フィルム自体に磁気記憶を持っているので、現像段階での焼き付け工程において磁気入りの磁性印画紙では、マグネットにより磁気記憶が消えてしまう危険性があるため、印画紙ロールの段階では無着磁の磁性印画紙にしておき、現像後の写真の時点で着磁装置により後から着磁してもよい。

【0007】

【発明の実施形態】本発明の磁性印画紙は、印画紙ロールを製造する工程段階で超薄型磁性シートを重合接着することにより磁性印画紙ロールを製造し、その磁性印画紙ロールをそのまま現像装置の工程間の厚み幅の狭い所を通すことができるものである。

【0008】そして、上述した超薄型磁性シートを安定的に印画紙ロールと重合接着させるために、磁性シート製造時に離形保護フィルムを使用し、印画紙ロールを製造する工程段階で超薄型磁性シートにラミネートされた離形保護フィルムを剥がしながら重合接着させるものである。

【0009】この磁性印画紙は、必要に応じて無着磁の状態の超薄型磁性シートを使用して、磁性印画紙ロールを製造し、現像後の写真の時点で着磁装置により後から着磁してもよい。

【0010】このようにして製造された磁性印画紙は、現像段階での磁性シートの重合接着による各写真店の大がかりな設備をしなくて済み、また現像後の写真の段階で磁性シートを1枚1枚重合接着する手間も省けることができるものである。

【発明の効果】

【0011】以上詳述の如く、本発明の磁性印画紙の製造方法によれば、印画紙ロールを製造する工程段階で超薄型磁性シートを重合接着することで、その磁性印画紙ロールをそのまま現像装置の工程間の厚み幅の狭い所を通すことができ、従来の現像段階での磁性シートの重合接着による大がかりな設備が不要となり、かつ現像後の写真に磁性シートを1枚1枚重合接着する手間も省けることで、家族の写真や友人の写真をピンなどで写真自信を傷つけずに磁性体面に自由に貼ったり剥がしたりして飾ることができるものである。